

# WUB Tokyo NEWS

## No. 7 2007.12.1

発行/WUB東京 広報委員会

発行責任者/長嶺 爲泰

WUB東京 事務所

〒104-0044 東京都中央区明石町6-13-902

有限会社 ビプロ 内

FAX 020-4623-5326

URL <http://wubtokyo.com>

E-mail [mail@wubtokyo.com](mailto:mail@wubtokyo.com)



### INDEX — 中国・上海大会報告 —

- 「第11回 WUB世界大会 中国・上海2007」参加報告  
グローバルな活動で大交易時代の再現を！  
— 上原 秀樹
- WUB世界大会 中国・上海2007 フラッシュバック
- 会員ビジネス紹介  
— 上原 永大/倉持 誠/安田 喜信/一ノ矢 充
- 沖縄「らしさ」の行方  
— 沖縄タイムス社 論説委員長 長元 朝浩
- WUB東京フラッシュバック(06年6月~07年10月)
- 情報発信掲示板 — 新入会員紹介/編集後記

## 「第11回 WUB世界大会 中国・上海2007」参加報告 グローバルな活動で大交易時代の再現を！

上原 秀樹

第11回WUB世界大会が9月19日に上海で開催された。中国と取引が増大している南米WUBの皆さんの要望もあり、WUB中国の主催で開催が実現したものである。私にとっても初めての上海であり、経済的な成長著しい上海でWUB大会が開催され参加する機会を得られたことを関係者の皆さまに深く感謝申し上げたい。

まず上海に着いて驚いたのは、上海空港から上海の中心街にいたるまで、以前に映像で見た自転車の大群ではなく、車の大渋滞であり、建物も想像よりはるかに近代的な高層のアパート、マンションが立ち並び、中心街も東京以上の超高層ビル群で、上海の町のパワー、人のパワーに圧倒された。WUB大会の開催会場でもあり、我々の宿泊先でもあるクラウンプラザ フーダン上海も東京の一流ホテルと同等以上に素晴らしく、東京にいと錯覚するほどであった。

大会前夜祭のWUBパーティーは浦東のタワーとして有名な東方明珠塔に隣接する東方濱江大酒店で開催され、ハワイ、



ブラジル、ペルーなど世界12支部の会員約120名が出席し、再会を喜びあった。

翌日のWUB世界大会2007は、約180名が参加し、歌手の日出克さんによる歓迎セレモニーで幕開けた。基調講演は、「中国における琉球人(沖縄ビジネスマン)ネットワーク」と題して、上海国際問題研究所の呉寄南氏による講演があり、上海企業や観光客の誘致の促進と「琉友会」(琉球の友達の会)の強固なネットワークや沖縄にゆかりのある上海人脈の積極活用の提言があった。

午後からは、パネルディスカッションとして若手討論会が開催され、私がWUB東京代表として参加した。各支部の意見は、「若い会員が集まらない」、「高い費用をかけてWUB大会に参加してもメリットが見出せない」、「大会は隔年越しにして」「ビジネスの成功事例が必要」「WUBが何をしてくれるかではなく、会員それぞれが何をやるかだ」など様々な意見があった。私からは①WUB東京は若手支援の一環として、沖縄の学生のための東京での就職説明会の講師、懇親会等の支援や学生のWUB活動参加も推奨しており、若手の参加も多い、②印刷、編集、



インターネットの得意な人材がおり、広報誌「えーく」やホームページでの情報発信によりメンバーの顔が見える活動が盛んであり、各支部にも同様に活動内容や、信頼できる会員の情報発信をして欲しい。③WUBは大交易時代の沖縄のようにアジア、世界とビジネスをするためのツールになって欲しい。まず一つのモデルとして、上海市場をターゲットに戦略を立ててみてはどうか。上海のニーズ(資源、食料、その他)と各支部(国)の保有する資源(ブラジルは既に中国に多くの資源を輸出しているとのこと)、そして近隣地域である沖縄や東京支部は何ができるのかを洗い出し、ビジネスマッチングを図ってみたいかがだろうか。(実験的な取り組みとしての上海モデル)ぜひ、WUBインターナショナルで戦略的なアプローチができる機能を発揮してもらいたい、旨を発言した。

議論が尽くせぬうちにパネルディスカッションは終了した



### 第11回 WUB世界大会プログラム

- 9月18日(火)  
東方濱江大酒店(オリエンタル リバーサイド ホテル上海)  
15:00 WUBインターナショナル 理事会  
19:00 WUBパーティー
- 9月19日(水)  
上海復旦日假酒店(クラウンプラザ フーダン上海)  
09:30 【第一部】開会式・歓迎セレモニー 2階大宴会場  
10:30 休憩  
10:40 【第二部】基調講演  
「中国における琉球人ネットワーク」 呉寄南氏  
11:50 閉会式  
12:00 ランチタイム 1階カフェMIX  
13:30 【第三部】パネルディスカッション 2階大宴会場  
コーディネーター ロバート・仲宗根氏  
15:30 【第四部】①WUB ITセミナー 2階ミーティングルーム  
②沖縄経済特区セミナー 2階大宴会場  
17:00 コーヒーブレイク  
18:00 【第五部】  
中国・沖縄エグゼクティブパーティー 2階大宴会場





が、ぜひ、WUBインターナショナルで各支部の意見を取りまとめ、WUB活動の10年を総括し、次の10年の進むべき方向の指針も示していただきたい。とは言え、まずはWUB東京だけでも意見を総括し、HP上に表明してみることも提案したい。次の大会プログラムとしてWUB ITセミナーが開催された。(国古真理子理事も通訳として参加)世界のウチナンチュネットワークとしての多言語ウェブサイト(www.Uchinanchu.NET)の開発、運用開始について、WUBハワイ



のダニエル知念氏より報告された。本サイトは、ボランティアの協力によりブログやフォーラム等で発言したコメントが英語、日本語、スペイン語、ポルトガル語に翻訳されるので、言葉の壁を越えて交流が可能になるものである。私も常々各支部にどのような会員がいて、どんなビジネスをしているのかが分かる各支部の名簿と、言葉の壁を越えて議論し信頼を高められるITを活用した仕組みの必要性を考えていたため、同氏に名簿整備と興味を持った会員同士が自由に交流できるページ

の追加を要望した。本サイトが充実、活用されれば、言葉の壁、時間の壁、距離の壁のない、グローバルな会員同士の活発な交流により、いろいろなビジネスが生まれるものと期待している。大会フィナーレのパーティーは、WUBメンバーや沖縄県関係者ら約300名が集まり盛大なうちに幕を閉じ、次回の大会での再会を誓い合った。未筆になりますが、今回の旅が非常に安心、安全、快適で、食事大変満足行くものであり、手配いただいた大城副会長には改めて感謝を申し上げたい。近々沖縄に帰任されるとのことで、今後も在沖のWUB東京会員として沖縄と一緒にWUBを盛り上げていきたいと思ひます。

の追加を要望した。本サイトが充実、活用されれば、言葉の壁、時間の壁、距離の壁のない、グローバルな会員同士の活発な交流により、いろいろなビジネスが生まれるものと期待している。

大会フィナーレのパーティーは、WUBメンバーや沖縄県関係者ら約300名が集まり盛大なうちに幕を閉じ、次回の大会での再会を誓い合った。

未筆になりますが、今回の旅が非常に安心、安全、快適で、食事大変満足行くものであり、手配いただいた大城副会長には改めて感謝を申し上げたい。近々沖縄に帰任されるとのことで、今後も在沖のWUB東京会員として沖縄と一緒にWUBを盛り上げていきたいと思ひます。

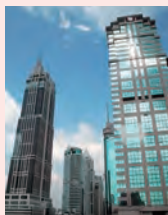


## WUB世界大会 中国・上海2007 フラッシュバック

■9月17日(月)



●場所：豫園商城  
熱気溢れる街と人。上海はおもしろい！



●近代的なビルがそびえ立つ、新しい上海。努力超越追及卓越！(北京オリンピック標語)

●外灘(ワイタン)から見た浦東の景色  
東方明珠塔と龍の観光遊覧船。迫力満点の夜景！



■9月18日(火)

●場所：蘇州・虎丘 雲岩寺塔  
雲岩寺塔は地盤沈下のため約15度傾いており、「中国のピサの斜塔」と呼ばれています。



●WUB Party(東方濱江大酒店 5階ヨーロッパの間)  
WUBアルゼンチン、ポリビア、ペルーからの参加メンバー。アルゼンチンからは、おいしいワインの提供がありました。



●今回の大会に尽力なされた、WUB沖縄、WUB中国のみなさん。お疲れ様でした！

●WUB東京&WUBハワイの新たなコンビネーション！盛り上がりました。



●WUB東京 全員集合！

■9月19日(水)



●第11回WUB世界大会(上海復旦日酒店 2階)  
パネルディスカッション  
英姿颯爽としたパネリストたち。お疲れ様でした！



●中国・沖縄エグゼクティブパーティー  
大役を終えて、ほっとした表情のお二人。お疲れ様！



●WUB東京の美女3人。  
たっちゃん、まなみちゃん、玲子姉さん。

●WUB東京ナイト・イン・上海  
今回は会長&副会長のお部屋をお借りしての東京ナイト。飲みました、語りました。



■9月21日(金)



●北京・天安門広場から見た天安門。中国の象徴、自転車は激減し自動車とバイクの世界。



●北京・万里の長城にもオリンピックの標語が…。モデルは小畑さんのお嬢さん。



## 株式会社 エーダイ・リアルティ

上原 永大

大学を卒業して以来ずっと東京で「不動産仲介業」に従事してきましたが、この度自分の会社を作らせていただきました。平成19年5月30日に登記をしたばかりでまだまだこれからなのですが、「楽しく！一生懸命！」に頑張っ



ていきます。

せっかく独立をしたのですから、今までの不動産だけにとらわれず、故郷の沖縄にも不動産を通して貢献できるよ



うな仕事をしたいと思っています。

私のビジネスは、

①法人向け賃貸事務所の仲介 / 独立の際に、東京都(主に23区)のオフィスビルのデータベースを整備しました(東京23区で約4万3千棟ほどのビル情報があります)。そのデータベースを活用して、「最適な事務所」の提案をさせてもらっています。皆さんも東京で事務所をお探しの際は一声お声掛けください。

②その他不動産に関する諸々のこと / 不動産の売買(投資用とか自宅の購入とか)や、アドバイス(管理も含めて)等を行っています。

③沖縄事業 / 不動産を通じて人と知合う機会が多く、沖縄へ興味を示す方が多くいらっしゃいます。その中で、「沖縄への移住」を希望する人に対する「長期滞在型施設」の提供を行います。ある程度の期間(3ヵ月とか半年とか)沖縄を体験してもらい、その結果「移住を決定」した人に対し、不動産サービスの提供(お家探し)を行っています。

ご興味のある方、いろいろと情報交換をしていきましょう!!!

## 日本ユースウェア株式会社

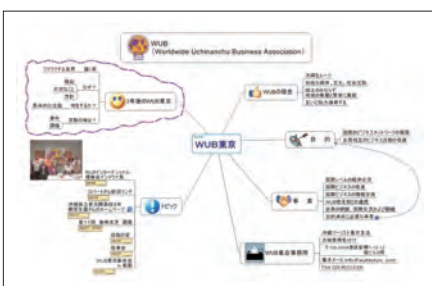
代表取締役社長 倉持 誠

当社は、人々や企業へ洗練された道具とその活用方法をご提供することで更なる成長をご支援しております。

その商品とサービスを2つご紹介いたします。



1つ目はMindManagerソフトウェアです。この道具は、販売キャンペーンや新商品開発などのような、あるテーマを中心に記述し、そのまわりに関連するアイデアや情報を書き出すことで、全体を可視化(見える化)することができます。更に書き出された項目間を関連付け、それぞれに作業担当者や作業予定日を記述することで実行計画へとスムーズに進



むことが出来ます。このように、プランニングから実行計画へと一連の流れをビジュアルに展開できるのが、このMindManagerという画期的なツールです。試用版もありますのでお気軽にお声をおかけください。

2つ目は、癒しと創造活動をご支援するアロマのご提供です。高品質エッセンシャルオイルと、このオイルが染み込む不思議なアロマメタルで、特別な道具を使わずにエッセンシャルオイルの効能を手軽に楽しむことが出来ます。寝室はもちろん、オフィスや愛車の中、旅先などと様々な場で使用できます。また、このメタルにロゴを刻印したノベルティや、他のアクセサリなどと組み合わせることで、オリジナル商品の共同企画なども行っております。癒しの場が求められている昨今、高品質アロマを手軽に楽しめることは、多くの方々に喜ばれることと存じます。

この他にも、ビューティ&ヘルシーな商品も取り扱っておりますので、是非WUBの方々と協業できればと存じます。ご興味のある方、是非お気軽にお声を掛けてください。

## 株式会社 澤本商店

代表取締役社長 安田 喜信

新宿区西早稲田の早稲田通り沿いで酒類の卸・小売りをしている「(株)澤本商店」の代表、安田さんに質問形式でビジネスのこと、沖縄のことを質問させていただきました。



Q: 都内の沖縄料理屋さんに多くの実績があるようですが、どれくらいの飲食店と取引をやっていらっしゃるのですか？

A: 約500店舗とお付き合いさせていただいております。

Q: 扱っているのは、お酒のみなんですか？

A: 沖縄にまつわるものは全て取り扱っています。当初はオリオンビールと泡盛だけを扱っていたのですが、取引先が増えるに従い、リクエストも多様化してきましたので、それに答えようということで、「琉球ガラス」や「焼き物の食器」、ちょっと他店ではあまり無いものでは、「赤瓦」なんでもものも取り扱っています。沖縄食材もすべて扱っていますよ。

Q: ホームページで「琉スタイル」という試みをしていらっしゃいますが、立ち上げたきっかけとか反響を教えてくださいませんか？

A: もっと沖縄を多くの人に身近に感じてほしくて立ち上げました。単に通販のサイトというわけではなく、沖縄料理屋さん同士のコミュニケーションの場としても使ってもらえるようになればとてもうれしいです。反響も含めてですが、まだまだこれからの「琉スタイル」です。



Q：東京のご出身である安田さんが沖縄に興味を持ったきっかけは何ですか？

A：「青い海」と「青い空」。そして何よりも、ウチナンチューの明るさ、陽気さにのめりこみました。自分自身が下町育ちなので人の温かさは染みついているのですが、ウチナンチューの温かさは別物です。

Q：今後は、沖縄とどのように関わっていきたいですか？

A：沖縄の経済的自立に少しでも関わっていきたいですね。日本という国家に委ねるのではなくウチナンチューの国家建立のため出来る限りの尽力をつくしたいです。

Q：どうもありがとうございました。

**琉球大学相撲部土俵に屋根と水引幕ができた話**

高砂部屋 一ノ矢 充



体育館の脇道の木立を抜け視界が広がると、目の前の陸上グラウンドの奥に、まだまだ真夏の沖縄の明るく強い日差しを受け、青空に映えた沖縄の赤瓦をおもわせる赤い屋根が目の中に飛び込んできた。赤い屋根を支える銀の四本柱も輝き、堂々と地に根を張り、どんな台風が来てもびくともしない威容を感じさせる。遠くからでも土俵があることがわかる雄々しさである。

「すごい」「立派だ」「想像以上」同行者らからもつぎつぎに感嘆の声が上がる。琉球大学相撲部土俵屋根が完成した。

赤色の屋根の下に、高貴であることを示す紫色の水引幕が張り巡らされた。水引幕とは、闘いの熱気を鎮めるため



に水を表す幕を土俵四方に張り巡らす幕の事で、幅が120cm、長さは41mにも及ぶ。紫の水引幕には琉球大学の校章が白く染め抜かれていて、その横に、寄贈「小森草木染工房」と「川原勝男先生」という文字がある。

川原勝男先生というのは、一ノ矢の高校時代の恩師で、2年・3年と担任でもあり物理の教師でもあったから、一ノ矢の進路への影響も与えた先生であった。その恩師が難病を患い病床に伏した。入院先の鹿児島島の病院へ一昨年見舞った時は、まだ多少の会話は交わせたが、病気の進行とともに言葉も発せなくなってしまった。そんな折、新聞記事を見たという先生の奥さんからお手紙が届いた。

「ご活躍のご様子、何より嬉しく、夫にも話しました。夫は2ヵ月ほど肺炎で高熱が続き、体重が激減し、40キロほどになりました。食事は飲み込めなくなったので流動食を鼻から管で入れています。MRIの検査の結果、脳の異常が前頭葉まで達していることがわかりました。10本の指が変形し、言葉が出てこなくなりました。私の一方的なおしゃべりで終始する最近の会話なのですが琉大の相撲部屋根の建て直しに奔走していることを伝えたと、「送って」と一言言ったのです。一瞬何が起こったのか、理解することができませんでした。夫が反応し、確かに言葉で返事をしたのでした。・・・中略・・・ですから、同封のお金は夫の意志です。どうか役立ててください。・・・後略・・・」

お手紙と共に一万円が同封されていた。

ちょうど九州場所の折で、琉球大学相撲部土俵屋根の建設に賛同してくれた旧知の高校教師にこの手紙の話をしたところ、感動して、親交のある福岡県甘木市秋月の小森草木染工房の社長にその熱き想いを伝えた。

先生の志の一万円を何らかの形にしたいという高校教師の想いと、社長の心意気が織り重なり、本来製作に数十万円もかかる水引幕が恩師の一万円でできることとなった。

赤い屋根の下に張り巡らされた紫の水引幕の中で、竣工を祝う神事が9月28日(木)午前9時から執り行われた。神事を司るのも、その



想いの輪に賛同してくれた福岡県甘木市の美奈宜(みなぎ)神社の内藤宮司である。屋根の竣工祝いのために、水引幕を持参してくれた小森草木染工房の部長さんと共にわざわざ沖縄まで足を運んでくれた。

屋根建設の計画を昨年春に立上げ寄付金を募ったものの、法人化になったばかりの大学側との交渉が遅々として進まず、計画が暗礁に乗り上げかけたこともあったが、全国からの200人余りの方々の想いで、ようやく完成までこぎつけることができた。そんな熱き想いの輪の広がり完成した土俵屋根と水引幕。そこに込められた、たくさんの方々の想いを、現役の8名の相撲部員たちが後輩に伝え、これからの人生に生かしてくれることを願う。

**沖縄に逢える!! 沖縄が味わえる!!**

**株式会社 おきなわ物産センター**  
 営業時間 AM 10:00~PM 8:00 年中無休  
 〒230-0042 横浜市鶴見区仲通り3-74-14  
 鶴見沖縄県人会1階  
 TEL 045-504-7816 オナワイナ  
 〒ダイヤル 0120-097817  
 http://www.okinawa-bussan.com  
 E-mail: info@okinawa-bussan.com

沖縄食材全般・健康補助食品(もろみ酢・うこん・シークワサーなど)  
 ポーク缶詰・その他950種類以上の品揃えでお待たせしております。

那覇営業所 〒900-0003 那覇市安謝2-3-2  
 TEL 098-941-0808 FAX 098-941-0820

沖縄を感じて、沖縄に酔いしれて!  
**ヘルシー居酒屋 おきなわ亭** ライブあり♪  
 TEL 045-321-0169  
 横浜駅西口徒歩5分(神奈川県鶴屋町2-19 山本ビル3F)

熟成手打ち風  
**沖縄そば工場**

ヘルシー沖縄料理の店  
**おきなわ亭**  
 045-506-4774

**TOHOKU ENTERPRISE CO., LTD.**

**TECO 株式会社 東北エンタープライズ**

- 原子力発電所技術サービス
- SENIOR FLEXONICS INC. MBD 日本総代理店
- 工業機器類輸入販売
- 技術英文翻訳

※当社は電気・計表および機械技術の学生および経験者を募集しています。

〒979-1111 福島県双葉郡富岡町大字小浜字大膳町119-3  
 TEL 0240-22-5963 FAX 0240-22-5630  
 e-mail: teco@lily.ocn.ne.jp URL: http://tohoku-enterprise.com



# 沖縄「らしさ」の行方



沖縄タイムス社 論説委員長 長元 朝浩

20数年前の話。海勢頭豊さんの店「エル・パピリオン」で建築家の金城信吉さんが海勢頭さんのギターにあわせて踊り始め、「阿修羅のような面相」で叫んだ。

「シマー マーヤガ！」

「シマー ミーランナトーシガ」

森口豁さんの『沖縄 近い昔の旅』にそのときの情景が詳しくつづられている。沖縄では知る人ぞ知るエピソードである。金城さんが亡くなって今年で23年になるが、今でも時々、金城さんの嘆きの声かふと聞こえてくることもある。何かの拍子にその言葉が頭に浮かび、残響のように響いてくるのだ。

80年代から90年代にかけて、沖縄社会は著しく変化した。ヤマト化の波が怒涛のように押し寄せ、慣れない「ビジネスの論理」や「資本の論理」に翻弄され、マツイを落としたような状態になった。

喜納昌吉にしろビギンにしろモンゴル800にしろ、そのころはやった島唄には「沖縄喪失の危機」を歌ったものが多い。「今日の沖縄は琉球処分以来の文化史的な転機にある」と、作家の大城立裕さんが指摘したのは90年代初めのことである。

12年に1回、午年に行われてきた久高島のイザイホーは、1990年に取り止めになり、92年には首里城が復元された。地域の文化がどのように変容していくかを考えるうえで、この二つの消滅と復活の取り合わせは極めて象徴的だ。

「沖縄の神は遠くへ行ってしまった」—そのころインタビューした民俗学者の仲松弥秀さんの言葉が今も強く印象に残っている。

変化はとどまることを知らない。

2年間の東京勤務を終え、沖縄に戻ってから気づいたことだが、沖縄にも墓参りの代理業が出現したという(4月22日付沖縄タイムス)。墓の掃除やお供え物の準備だけでなく、実際に線香をあげて拝むことまでやってくれるらしい。体の不自由な人、事情があって墓参りができない人のために、代わって供養するビジネスだ。運転代行だけかと思ったら、いよいよ沖縄もウシーミー代行の時代に入ったようなのだ。

沖縄は実は、他県に比べ意外にも3世代同居世帯が少なく、



旧盆のウーケイの日に、そろって祖先の霊に手を合わせる一家(沖縄タイムス社提供)

逆に独居老人が多い。墓参りに行きたくても行けない人にとっては確かに便利ではあるだろう。ただ、墓前で手をあわせ、祖霊と対話をしながら心の平安を得るという信仰上の趣旨は空洞化することになる。これもまた文化変容の典型的なパターンだ。

近年、旧盆の料理の準備を省くため、オードブルを外注するケースが増えている。料理の準備は昔から女性の仕事だった。暑い夏に朝から揚げ物だの汁物だのと悪戦苦闘しているのに、男衆はただ座って飲み食いするだけ。女性の怒りが爆発しても不思議ではない。「作るのが面倒」「子どもが食べないから」という理由も加わってオードブル屋さんとは年々、繁盛の一途である。

かくて旧盆の伝統料理は時代とともに変質していく。

変化が急速に進んでいるのは島くとうばであろう。古い言葉が古老の死とともに日に日に消滅している。

コンビニや郊外型大型店舗の出現にみられるように、全国どこでも似たような光景が広がり、「生活の均質化」が進んでいる。

だが、その一方で、沖縄では、「ヤマト化」「グローバル化」「生活の均質化」の動きと同時に、「オキナワン・ウェイ・オブ・ライフ」へのこだわりも依然として根強いものがある。沖縄を特徴づけているのはむしろ、その部分へのこだわりの強さかもしれない。

昨年、県内で「御願(ウグワン)行事」に関する本が相次いで出版され、話題を呼んだ。「よくわかる御願ハンドブック」(ボーダーインク社)は今やベストセラー。沖縄の葬式と法事と位牌についてまとめた「スーコーとトートーメー」(むぎ社)もよく売れている。

売れ筋本のほとんどが、読んですぐに活用できるようなハウツーものの体裁をとっている。なぜ今、この種の本が売れるのか。

家庭の中で御願事の伝承力が急速に低下していることが背景にあるのではないかと。

毎月1日、15日にヒヌカン(火の神)を拝み、家内の安全を祈願するのは女性の役割だった。家庭の中で、女から女へ伝承されてきた御願事の作法が戦後、伝わりにくくなった。

今や団塊の世代がおじい、おばあと呼ばれる時代になったが、この世代は戦後教育を受けた世代である。女性の社会進出が急速に進み、男女共同参画型社会の基礎を築いた世代でもある。仕事が忙しくてとてもヒヌカンなんか拜んでいられない、というのが正直なところだろう。

御願行事に関する本が売れているということは、逆にいえば、文化の根を絶やしてはならないという危機意識の現れ、だと見ることもできる。「オキナワン・ウェイ・オブ・ライフ」へのこだわりだ。

グローバリゼーションが進むと、それに抗うかのようにローカルなもの、自分らしさへのこだわりや土地への愛着





教科書検定の撤回と記述復活を求めて会場を埋め尽くした人たち（沖縄タイムス社提供）

が強く出てくると言われる。

沖縄も今まさに、そのような変化の真っ只中にある。

米兵による暴行事件に端を発した1995年10月21日の県民大会と、今年9月29日に開かれた教科書検定をめぐる県民大会。この二つの歴史的な大会は「基地」と「戦争」をめぐる政府への異議申し立てだった。「歴史の記憶」「土地の記憶」に根ざした異議申し立てだと言ってもいいと思う。

参加した人たちの思いをひと言で要約することには危険が伴うが、それを承知で言わせてもらえば、そこには、郷土

意識や郷土愛に根ざした感情が意識下に脈打っていたような気がする。いわゆる「パトリオティズム」と呼ばれるものだ。そのような性格を備えた「島ぐるみ」の県民大会が開かれること自体、他県では考えられないことである。

グローバル化の波にさらされ変化する沖縄。依然として異質性を強く保持し自分らしくありたいと願う沖縄。両者の拮抗・対立、相互浸透・融合の中からこれから先、さて、何が生まれてくるか。（・・・ついつい社説っぽくなってすみません）。

**デジタルソリューションのための  
ベストパートナー**

**私たちは、お客さまにとって  
ベストな情報環境をご提供する  
情報戦略のプロフェッショナル企業です。**

業務内容：各種事務処理系アプリケーションの開発から、ハードウェアの選定・導入から運用。「WEB系ソフトウェア」「DBソフトウェア」「CGソフトウェア」など各種アプリケーションの開発。クライアント・サーバシステム（CSS）にかかわる各種ソフトの設計、開発、コンサルティングなどデジタルソリューションに関わる全ての業務を行っています。

**おかげさまで創業30周年**  
これも偏に皆様のご支援、ご指導の賜物と深く感謝申し上げます

**株式会社  
日本アドバンスシステム**

<http://www.nasbi.co.jp/>

本社 東京都品川区西五反田2-12-3 第一誠実ビル TEL:03-5759-1781 FAX:03-5759-1627  
静岡事務所 名古屋事務所 大阪事務所 沖縄事務所

**ねっ? 違うでしょ? これが沖縄の海。**

創業40余年 迅速・確実なサービス

**沖縄ツーリスト**

信頼のマーク 北海道から沖縄まで……全国34店のサービスネット

東京支店 銀座案内所  
TEL (03) 3509-6311 TEL (03) 3562-6455  
港区新橋1-13-12 (銀座わしたショップ内)  
E-mail:tyo@otsinfo.co.jp



【6月】28日／理事会。会議室は今年も沖縄ツーリストのお世話に。

29日／平安隆さんLive。下里副会長の横浜おきなわ亭にて、又吉理事企画。

【7月】1日／えーく6号発行。

26日／理事会。事業計画確認。

【8月】23日／理事会。大判スカーフ報告。



【9月】16日／IT勉強会。日本ユースウェアにて高宮城講師によりWeb、メール等。27日／理事会。WUB奨学基金報告。

30日／大城副会長沖縄県観光功労者賞受賞記念祝賀会。大城さん関係6団体共同の祝賀会を開催。

【10月】12日／第4回世界のウチナンチュ大会。重田顧問がパネリスト参加。夜は天久会員のなんくるないさ那覇店にてWUB東京ナイト。

25日／理事会。インターナショナル会計報告。

29日／IT勉強会。ピプロにてコンテンツ更新等。



【11月】4日／WUBハワイ知念ダニエル氏歓迎会。ハワイ&東京、WUBが誇る2大webマスター初顔合わせ。品川パシフィックホテルにて。

22日／理事会。忘年会計画。

【12月】6日／忘年会。ハワイよりロバート仲宗根氏。興那嶺会員、高宮城理事、国吉真央ちゃんのバイオリンと小畑監事の三線による共演に大喝采！銀座モルチェにて。



07年【1月】24日／理事会。就職の翼協力依頼。

【2月】1日／WUBブラジル城間事務局長 歓迎会。来年はWUB世界大会、移民100周年、世界うちなんちゅ大会など盛沢山。17日／WUBタイ瀬底氏歓迎会。新橋なんくるないさにて。



24日／理事会。桃原会員を理事・事務局次長に推薦。引き続き高倉理事の発案で形式にとられないの主旨で、第1回YUNTAKU会開催。おきなわ亭にて。

【3月】3日／就職の翼。オリンピック記念センターにて又吉理事コーディネートののもと、学生75名が参加。長嶺会長挨拶、重田顧問講演、高倉理事の激スピーチ、国吉理事・又吉理事・平良理事がWS参加。うちなー学生、ちばりよー！



7日／モラレス・ポリヴィア大統領来日。長嶺会長お出迎え。

28日／理事会。総会詳細。

28日／琉球新報 近藤好沖報道部長送別会。「沖縄マインド」に

## WUB東京 フラッシュバック (06年6月~07年10月)

多数取り上げていただきました。

【4月】25日／理事会。

【5月】23日／理事会。総会前最終確認。



29日／総会。霞ヶ関ビルにて(42名)。桃原会員を理事・事務局次長に承認。在日ポリビア共和国大使 安次嶺正勝ハイメ氏、ペ

ルー国元駐日大使 有富ヴィクトル氏がゲスト参加。

【6月】1日／「かりゆしウェアを世界へ広める会」発足式へ参加。三越日本橋にて。

16日／IT勉強会。経営協事務室にて。

27日／理事会。



30日／第2回YUNTAKU会&ナツコの会。マダムタ雨子にて合同開催。奥野修司さん(「ナツコ 密貿易の女王」著者)にもご参加いただき、約20名と大盛況。

【7月】6日／第1回えーく7号編集委員会。全員参加を編集のテーマにして委員会スタート。

16日／美崎大洋個展。銀座月光荘にて。

25日／理事会。ハワイのウチナンチュネット、えーく編集等。28日／IT勉強会。強力助っ人の山本会員登場。日本ユースウェアにて。

【8月】1日・31日／菅原律子設計事務所が手がけた作例、クラウド赤坂氷川町(モダン+和)、西麻布(ニューヨークから見たアジア)のオープンハウスをご案内。

25日／沖縄ツーリストにてWUB東京備品整理。半分以下の3箱に。作業後、60度の舞富名を一杯、二杯…。

29日／理事会。知花清全会員の南米レストラン 鶴見LA ESTANCIAにて。

【9月】15日／国技館にてWUB東京会員であり現役最年長相撲



取りの一ノ矢さんを応援、夜にはご本人を囲んでちゃんこを堪能。19日／第11回WUB世界大会。上海にて12支部180名が参加。26日／理事会。上海大会報告等。

28日／WUBポリビア歓迎会。渡久地政得会長と中田マルコ前会長をLA ESTANCIAで歓迎。福井会員・前川会員と「南米日系人専門家養成と現地企業活性化プログラム」でご縁が。

【10月】24日／理事会。大城副会長送別会。WUBマウイ クラレンス上原会長ほか多くのゲスト参加あり。

29日／沖縄ツーリストによる大城氏歓送会。大城さんの交遊の広さがうかがえる一大歓送会。



## 情報発信 掲示板

### ■新入会員紹介 (2007年10月末日現在)

- 佐和田 武夫(さわだ たけお) 宮古島市伊良部出身・58歳。日本復帰前年(71年)ヤマト移住。千葉県在住歴33年。時代の変化、スピー



ドを体感するのにドキドキひやひやの毎日です。想いはいっぱいありますが、ウチナーのキーワードは「国境域」という潮目にあるのではないのでしょうか。台湾、香港、上海、福州など大陸沿岸に漕ぎ出すニーサーたちに夢を託します。

- 與那嶺 理香(よなみね りか) WUB東京のメンバーとして



2年目のヴァイオリニストの與那嶺です。現在は沖縄初のプロ・オーケストラ琉球交響楽団コンサートミストレスを務めつつ、世界的指揮者の小澤征爾さん(桂冠名誉指揮)、音楽監督をクリスチャン・アルミンクさんが務めます新日本フィルハーモニー交響楽団の契約団員として活動しております。私は32歳まで沖縄で生まれ育ちました。昨年の春から生活拠点を東京に移し、数多くのステージ経験を積み重ねつつ、日々音楽&人生修行をおこなっております。東京で生活を始めてからは沖縄料理を作って仲間に食べてもらいつつ沖縄の話をしたり、職場にて方言講座をおこなったり(例えば挨拶など。あとホットコーヒーはアチコーコーコーヒーと紙に書いてコーヒーメーカーに貼り付けたり!)沖縄音楽を子どもたちに聴いてもらったりと私にできることを通して大好きな生まれ島を紹介しています。これからも生まれ島自慢を色々なところでユンタクして歩いていこうと思います!沖縄を離れて初めて気づいた事や考えさせられた事がたくさんあり、それを来年は沖縄に持ち帰って、私なりに沖縄のためにできることをやっていきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

- 仲村 吉郎(なかむら よしろう) 現在外資系のコンピュータ会社の日本法人の雇われ代表をつとめております。高校までは沖縄にいましたが、広い世界を見たくて、大学はアメリカへ飛び出した、無鉄砲ものです。WUBの活動には、何も貢献できないと思いますが、私の今までの外国との交流経験が、WUBの皆様のお話の種にでもなればと思ひ、WUBの活動に参加しております。その様なしだいで、お役に立てるお話は何も持っておりませんが、面白い話ならたくさんありますので、機会がある酒席にでも、披露できればと思っております。



- 徳平 正憲(とくひら まさのり) 出身は兵庫県です。来年の1月に還暦を迎えます。学生時代、神戸港から浮島丸で沖縄旅行をして以来、沖縄ファンになっています。現在は(株)テクノスジャパン、神戸テクノス(株)というソフトウェア会社を経営しております。今年の7月に那覇市久茂地に沖縄テクノス(株)という子会社を設立し、ソフトウェア開発、情報システム教育の拠点にしたいと考えております。沖縄出身ではございませんが、皆様よろしくお願ひいたします。



- 桃原 隆博(とうばる たかひろ) 勤務先は青木あすなろ建設(株)です。本年で43歳、宜野湾市新城出身、昭葉高卒、現在神奈川県に住んでおります。本年度総会で事務局次長に拝



命賜りました。WUB活動に出来る限り積極的に参加し、また皆様に参加を呼びかけて、活発な活動が広がる一助になれるようがんばりますので今後ともどうぞよろしくお願ひします。

- 阿部 和夫(あべ かずお) 青木あすなろ建設(株)で営業部長をしております。元々は経理畑ですが



営業マンとしては6年ほどになります。WUBへ期待することは、私は沖縄が大好きなので、沖縄の仲間をつくること。将来、沖縄での生活を視野に入れること。人とのつながりを、助け合いをベースとしたビジネスに結びつけることです。どうぞなかよくしてください。よろしくお願ひします。

- 山本 隆(やまもと たかし) このたび、たかなーぐすく様



のご紹介により、入会させていただきました。名前のとおり、やまとんちゅーで、石川県金沢市出身です。1998年にJICA沖縄国際センターに勤務して、3年間城間に住んでいました。その時に、心の琴線に触れてしまったのか、それ以降ずーっと沖縄関連の仕事に関わっています。島ないちゃーを超える、“大島ないちゃー”となるのが目標です。今後ともよろしくお願ひします。

- 島山 穰(はたけやま じょう) ハイサイ! 島山と申します。那覇市小緑出身、昭葉高卒、三菱商事(株)リスクマネジメント部で働いて



います。幼少から「世の中のことを知りたい」という好奇心を抱いてきた私は、大学で計量経済学を専攻し「投資を一つのキーとして経済の仕組みを知ることができるのでは」と考えるようになりました。現在の業務は「取引先・事業投資先に対するリスク管理」ですが、子供の頃から抱いてきた興味の核心に少しずつ近づいてきているように思ひます。沖縄人にも拘わらず恥ずかしいほど知らないのでは是非皆さん沖縄を教えてください。沖縄の明るい未来のために少しでも貢献したいと思ひ今日この頃です。

- 外山 香(とやま かおる) 人生3万日! 短い人生を楽しも



う! 山本さんのご紹介を得て入会しました外山です(男性ですよ)。1950年宮崎市に生まれ、高校まではのんびりした南九州の片田舎で育ちました。東京で大学を卒業後、そのまま就職し平凡な生活をしておりましたが、縁あって30歳代後半から沖縄の会社で働き、平成元年から約10年沖縄市近辺に在住。その後東京に戻り現在に至っております。沖縄で培った生き方を今後の人生の糧として楽しみたいと思ひます。宜しく!

### ■編集後記

7月28日の編集委員会で、急遽、編集責任者を引き受けることになり、その席上で、内容構成、スケジュール、編集委員会の体制を協議し、記事ごとに、執筆者、依頼・回収者、責任者を割り振った。議事内容をExcelに展開してスケジュール管理を行ったが、各委員の高い意識と持ち場を守る精神のお陰で、進捗は寧ろ前倒しで推移し、極めて順調に編集作業を推進することができた。改めて皆様のご協力に感謝したい。(小畑)



会員の皆様からの近況報告やイベントや商品等の告知、ご意見等をお待ちいたしております。どしどしお寄せください。